

「第 225 回佐賀精神科集談会」

特別講演のご案内

演題：「精神鑑定の実際」

講師：遠藤 光一（肥前精神医療センター 精神科医長）

日時：令和 8 年 10 月 7 日（水）19：00～

会場：肥前精神医療センター 第 3・4 会議室

精神鑑定は、責任能力鑑定とも呼ばれ、人が何らかの事件を起こしたときにそれが、本来のパーソナリティによるものか、精神障害による影響を受けているのかを判定するものである。当然ながら、そのどちらか一方のみが原因となるわけではなく、両者の境界は不明瞭である場合が大部分である。その場合、よりパーソナリティの影響が強いものが完全責任能力となり、より精神障害の影響が強いものが不完全責任能力となり、その程度によって、心神耗弱か心神喪失かに判定される。以前は、喪失なのか耗弱なのかまでを精神鑑定書の中で考察されることが望まれていた。

つまり、精神鑑定とは「悪い人には罰を与え、病気の人には治療を提供する」ための詳細な医学的診断書であると言える。

本講義では、精神鑑定における基礎的な事項から、実際の鑑定事例の紹介、および当院の 20 年間の鑑定事例のまとめなどもおこないたいと考えている。

（講師略歴） 遠藤 光一（えんどう こういち）

平成 7 年宮崎医科大学医学部卒業。研修医を経て、平成 9 年国立肥前療養所（現：肥前精神医療センター）勤務。平成 20 年久里浜アルコール症センター転任。平成 20 年 6 月より厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室に併任。平成 22 年 8 月より肥前精神医療センター勤務。平成 24 年 4 月より佐賀県医療センター好生館。平成 27 年 4 月より現職。医療観察法病棟で勤務しながら、精神鑑定医としての業務もこなしている。



主催：国立病院機構 肥前精神医療センター 集談会係

(<https://hizen.hosp.go.jp>)

〒842-0192 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津 160 電話 0952-52-3231 FAX0952-52-3400

お問い合わせ先：集談会担当医師 住吉孝久（担当事務 加藤）